

(第2号様式)

鏡特第 1725 号
令和7年 2月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立鏡が丘特別支援学校
校 長 上運天 滋
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月2日 10:00~11:30	場所	会議室	出席 状況	学校評議員5名出席 本校職員9名
第2回	日時	令和6年11月27日 10:00~11:30	場所	会議室	出席 状況	学校評議員1名出席、書面4名 本校職員9名
第3回	日時	令和7年2月5日 10:00~11:30	場所	会議室	出席 状況	学校評議員5名出席 本校職員9名

2 学校評議員に求めた事項

〈第1回〉「令和6年学校経営方針について」「各学部等の取り組みについて」
〈第2回〉「各学部等の取り組みについて」「校内研修について」「学校評価について」
〈第3回〉「教育支援部の取り組みについて」「進路指導の取り組みについて」「学校評価の結果について」「本校における働き方改革について」

3 学校評議員の意見

・貢献しているという気持ちを育てたい。子どもがわかるレベルでの学習 何のために勉強しているの?という点を伝えていくこと ねらいを設定していくことを検討してほしい。
・将来の卒業後の生活を見据えた個別の支援計画を作っていくことが大切。
・当事者の声を聞くことが大事。当事者による研修も入れてもいいのでは。
・就労に向けて自分の意志で動いていることに感心した。鏡の卒業生で一般就労として観光業界で実習に行った生徒と関わっている。その時、移動手段とトイレ介助がネックになっている。就労での移動支援に対して行政に声を上げていきたい。最近リモートワークが可能になってきているのはよい傾向。

4 学校運営に反映した事項

・授業・教材のアイデア共有化の推進。校内研修の充実。
・進路講話の充実(当事者の一人暮らしの様子、障害者年金など)

5 課題その他

・働き方改革の推進